

出展作家について



撮影：シャヒロヤス

梅田哲也 | UMEDA Tetsuya

1980 年熊本県生まれ、大阪府在住。

現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象

としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。

受賞者インタビュー
(令和 6 年 7 月収録) ▶
https://tokyocontemporaryartaward.jp/winners/2024-2026/winner02_interview.html#interviewLink



「wait this is my favorite part 待ってここ好きなとこなんだ」展示風景（ワタリウム美術館、東京、2023） 撮影：天野祐子

近年の個展に「wait this is my favorite part 待ってここ好きなとこなんだ」（ワタリウム美術館、東京、2023）、「梅田哲也 イン 別府『O 滞』」（別府各所ほか、大分、2020）など。また、パフォーマンス公演として「Kunstenfestivaldesarts 2017『Composite: Variations / Circle』」（ブリュッセル）など。



撮影：シャヒロヤス

呉夏枝 | OH Haji

1976 年大阪府生まれ、オーストラリア在住。

2012 年京都市立芸術大学美術研究科博士後期課程研究領域染織修了。

主に、織、染、ほどくなど、繊維素材にまつわる技法を用い、写真、テキスト、音声などを併用したインスタレーション作品を制作。在日韓国人三世の出自を背景に、言葉にされなかった個人の記憶—沈黙の記憶—をめぐる制作や、ワークショップを通しての対話や経験をもとに、記憶の継承の可能性を探究している。現在は、日本とオーストラリアを拠点に活動している。

受賞者インタビュー
(令和 6 年 7 月収録) ▶
https://tokyocontemporaryartaward.jp/winners/2024-2026/winner01_interview.html#interviewLink



《彼女の部屋にとどけられたもの》2019
撮影：根本 譲 画像提供：水戸芸術館現代美術センター

近年の展覧会に、「総合開館30周年記念 遠い窓へ日本の新進作家 vol.22」（東京都写真美術館、2025）、「アジア・パシフィック・トリエンナーレ11」（クイーンズランド州立近代美術館、ブリスベン、オーストラリア、2025）、「ANTEPRIMA × CHAT Contemporary Textile Art Prize 2024」（CHAT、香港）、「六本木クロッシング 2022 展：往来オーライ！」（森美術館、東京）など。